

【参考】 2007年統計と新基準で集計し直した2006年統計との比較

表1 日本で開催された国際コンベンションの概要

	2007年	2006年
開催件数(件)	1,858	1,670
外国人参加者数(人)	109,720	-
参加者総数(人)	908,078	-
国際コンベンション1件あたりの平均開催日数(日)	2.67	-

表2 国際コンベンション開催件数 上位10都市

2007年		2006年	
都市	件数(件)	都市	件数(件)
東京(23区)	440	東京(23区)	460
京都市	183	京都市	154
横浜市	157	福岡市	126
福岡市	151	大阪市	111
名古屋市	109	名古屋市	109
神戸市	89	横浜市	103
つくば地区	82	神戸市	76
大阪市	76	つくば地区	64
仙台市	51	千里地区	49
札幌市	44	札幌市	48

注:「つくば地区」とは、つくば市、土浦市を指す。

「千里地区」とは、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

表3 日本で開催された「中・大型国際コンベンション」の概要

	2007年	2006年
開催件数(件)	314	316
外国人参加者数(人)	66,934	66,875

【注】 JNTOコンベンション統計の基準変更 及び UIA統計基準

JNTOコンベンション統計の基準変更	UIA統計基準
<p>新基準(2007年より)</p> <p>国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は国家機関・国内団体(各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て)が主催する会議で下記の条件を全て満たすもの</p> <p>①総参加者数50人以上、②参加国が日本を含む3カ国以上 ③開催期間が1日以上</p>	<p>1.国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議 ①参加者数50人以上、②参加国数3カ国以上、③開催期間1日以上</p> <p>2. UIAにより主催者が「国際機関・国際団体」ではないと判断された会議 ①参加者数300人以上、かつ主催国以外の参加者数が全参加者の40%以上 ②参加国数5カ国以上、③開催期間3日以上</p>
<p>旧基準(2006年まで)</p> <p>下記のいずれかの条件を満たすもの</p> <p>①参加者総数が20人以上で、かつ参加国が日本を含む2カ国以上の国際会議 ②参加者総数が20人以上で、かつ外国人参加者数が10名以上の国内会議</p>	<p>・参加人数の条件に満たなくても展示会が併設されていれば参加人数の条件を満たすものと扱う</p> <p>・参加国数及び開催期間について、UIAで確認がとれなかった場合、各国が従来基準に合致するものとして報告した会議については計上</p>